

KYT(危険予知トレーニング)



- どのような危険が予測されますか？
- どのような運転をすれば安全ですか？

状況説明

雨の日に生活道路を走行し、見通しの悪い交差点に差しかかりました。前方からは傘を差した自転車が近づいてきました。自車はこのまま交差点を直進したいのですが……。

ドライバーとして

- イラストを見て、この運転場面に潜む危険要因を挙げてください。
- この場面での安全な運転方法について考えてください。

同乗者として

ドライバーにどのようなアドバイスをすればいいでしょうか。考えてください。

回答例

危険予知ポイント

- ①バランスを崩してふらついた傘差し自転車と衝突する。
- ②交差道路を通行してきた歩行者と衝突する。

※自転車の動静を確認し、十分な間隔をとる

- 傘を差した自転車はバランスを崩しやすく、ふらついたり、ときには転倒するおそれがあり、安易にすれ違おうとすると衝突する危険があります。
- 傘を差した自転車とすれ違うときは、徐行をして十分な間隔をとってすれ違おうか、一時停止をして自転車をやり過ぎましょう。

※交差道路の安全確認を徹底する

- 交差道路を通行してきた歩行者に気づくのが遅れて衝突する危険があります。
- 雨天時は、窓ガラスについた雨滴や曇りが視界を悪化させ、歩行者等を見落とすおそれがあるため、交差点の手前で確実に一時停止して、いつも以上に安全確認を徹底しましょう。